

都市再生整備計画 事後評価シート
鳩山ニュータウン地区

令和2年3月

埼玉県 鳩山町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	埼玉県	市町村名	鳩山町	地区名	鳩山ニュータウン地区		面積	137 ha					
交付期間	平成27～31年度 (令和元年度)	事後評価実施時期	令和元年度	総事業費		1,442.7百万円	国費率		0.499				
				交付対象事業費		1,161.7百万円							
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 【道路(都市再構築戦略事業)】町道第2859号線 【地域生活基盤施設(都市再構築戦略事業)】避難所案内板 【高質空間形成施設(都市再構築戦略事業)】町道第2766号線(点字ブロック)、町道第66号線(点字ブロック) 【中心拠点誘導施設】福祉・健康複合施設 【既存建造物活用事業(都市再構築戦略事業)】多世代活動交流センター										
		提案事業	-										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
		提案事業	-		-		-						
	新たに追加した事業	基幹事業	-		-		-						
		提案事業	-		-		-						
交付期間の変更	当初	平成27～30年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		影響なし								
	変更	平成27～31年度(令和元年度)											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み				
	指標1	健康寿命	年	男性: 17.76歳 女性: 20.63歳	H25	男性: 18.3歳 女性: 21.1歳	H31 (R01)	-	男性: 19.56歳 女性: 21.60歳	○	あり なし	高齢者の健康福祉を支援する施設や交流活動を推進する施設の場づくりにより、高齢者の外出や運動の機会が増え、健康寿命の増加につながっている。	令和2年 10月以降
	指標2	多世代活動交流センター施設利用登録団体数	団体/年	5団体	H25	7団体	H31 (R01)	-	9団体	○	あり なし	リニューアル開設後、間もない期間であるが、施設利用の団体数は着実に増加しており、福祉・健康複合施設や民間老人ホームとの併設等の拠点化や登録制から申請制への見直し等による利用しやすさの向上が、利用団体数の増大につながっている。	令和2年 10月以降
指標3	健康教室年間利用者数	人/年	500人	H25	700人	H31 (R01)	-	771人	○	あり なし	通所型介護予防事業の拠点である福祉・健康複合施設における健康教室は継続的に行われている。また、教室運営や体操を活用した通いの場の担い手を育成することにより健康教室が継続して運営され、全体の参加者増加につながっている。	令和2年 10月以降	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み				
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況	なし												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	持続的なまちづくり体制の構築	町内及び近隣の東京電機大学、山村学園短期大学と、健康づくり・子育て支援・文化芸術などの連携事業を定期的に実施。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				○ 継続的に関連大学との連携事業を進めるとともに、新たな課題等に対応するため、関係課及び関連大学や団体と調整を行いまちづくり体制の構築を図る。					

様式2-2 地区の概要

鳩山ニュータウン地区(埼玉県鳩山町) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値	
大目標:高齢者から子育て世代までが安心して暮らせる、多世代交流型のまちづくり	健康寿命	単位:年	男性:17.76歳 女性:20.63歳	H25	男性:18.3歳 女性:21.1歳	H31 (R01)
小目標①:超高齢化に対応した歩いて暮らせるまちづくり	多世代活動交流センター施設 利用登録団体数	単位:団体/年	5団体	H25	7団体	H31 (R01)
小目標②:災害に強く誰もが安心して生活できるまちづくり	健康教室年間利用者数	単位:人/年	500人	H25	700人	H31 (R01)
小目標③:多世代の交流による地域コミュニティの活性化					771人	H31 (R01)

区域要件	DID地区※	地区内
	ピーク時運行・数	朝7時台 10本以上
	公共用地率	42.30%

■基幹事業 高質空間形成施設 (都市再構築戦略事業)
町道2766号線

計画区域面積	137ha
公共用地面積	71.5ha
公共用地率	42.30%

よって公共用地率15%を満足している。

平成25年3月16日 ダイマ改正

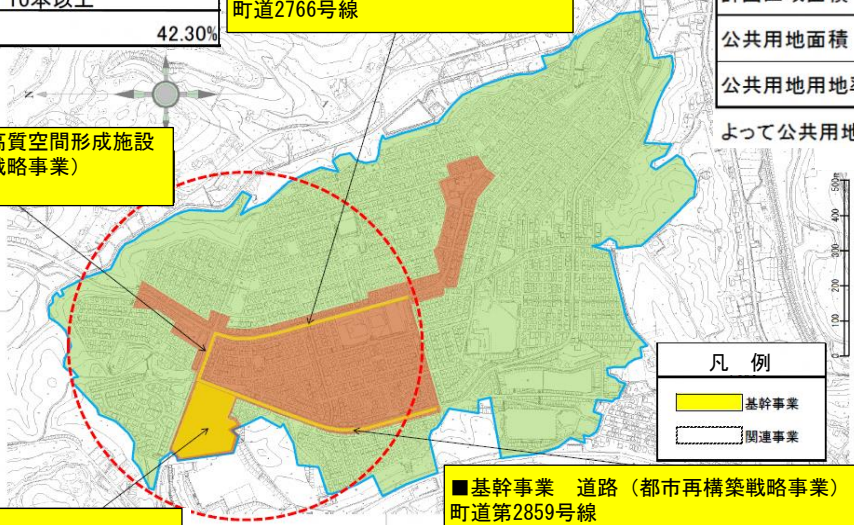
バス時刻表

鳩山ニュータウン地区

月一寄	日	本町駅	鳩山ニュータウン地区
00:07	18:24	30:36	42:48
01:07	19:25	31:37	43:49
02:07	19:25	31:37	43:49
03:07	19:25	31:37	43:49
04:07	19:25	31:37	43:49
05:07	19:25	31:37	43:49
06:07	19:25	31:37	43:49
07:07	19:25	31:37	43:49
08:07	19:25	31:37	43:49
09:07	19:25	31:37	43:49
10:07	19:25	31:37	43:49
11:07	19:25	31:37	43:49
12:07	19:25	31:37	43:49
13:07	19:25	31:37	43:49
14:07	19:25	31:37	43:49
15:07	19:25	31:37	43:49
16:07	19:25	31:37	43:49
17:07	19:25	31:37	43:49
18:07	19:25	31:37	43:49
19:07	19:25	31:37	43:49
20:07	19:25	31:37	43:49
21:07	19:25	31:37	43:49
22:07	19:25	31:37	43:49

※DID地区:国勢調査基本単位区等を基礎単位として、1.「原則として人口密度が1平方キロメートル当たり4,000人以上の基本単位区等が市区町村の境界内で互いに隣接」して、2.「それらの隣接した地域の人口が国勢調査時に5,000人以上を有する地域」を指す。

■基幹事業 高質空間形成施設 (都市再構築戦略事業)
町道66号線



■基幹事業 中心拠点誘導施設 (都市再構築戦略事業)
福祉・健康複合施設

■基幹事業 既存建物活用事業 (都市再構築戦略事業)
多世代活動交流センター

■基幹事業 地域生活基盤施設 (都市再構築戦略事業)
避難所案内板設置

■基幹事業 道路 (都市再構築戦略事業)
町道第2859号線

○関連事業 (効果促進事業)
鳩山ニュータウン地区
都市機能施設評価分析に関する調査

○関連事業 (効果促進事業)
鳩山ニュータウン地区
都市再生整備計画事業評価

凡例

- ①公共交通圏
- ②DID地区
- ③公共用地率15%以上となる区域
- ④都市機能誘導区域

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 施設(ハード)を活用した取組(ソフト)の充実。 町内全域からの中心拠点へのアクセス利便性の向上。 超高齢化社会に対応したさらなる歩きやすいまちづくりの推進。 若年層の流出は、継続的に続いており、若年層にとっても住みやすい魅力のあるまちづくりの推進。
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 福祉や生涯学習部門との連携による効果的な健康増進プログラムを検討 若年層の利活用促進策の検討 公共交通機関の整備推進 バス路線網の整備拡充 バス・デマンドタクシーとの連携を強化 歩行空間ネットワークの拡大 歩行環境を活かしたウォーキングコースやプログラム、歩かせる仕掛けづくり 若年層の定住促進策の検討 子育て環境の整備・充実 若者の雇用の場の創出